

- 問1 青森県に位置し、大型掘立柱建物跡などの発見によって縄文時代の定住生活の実態を明らかにした、日本最大級の集落跡は何か。 (2025年 北海道公立入試 類似)

1. 吉野ヶ里遺跡

2. 岩宿遺跡

3. 三内丸山遺跡

4. 登呂遺跡
- 問2 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である

2. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である

3. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された

4. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された
- 問3 縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいますか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 埴輪

2. 石包丁

3. 青銅器

4. 土偶
- 問4 縄文時代には、重く割れやすい土器や土偶の制作、長期間の生活痕跡である貝塚の形成といった文化がみられます。これらの文化が形成された背景となる当時の人々の生活様式について、最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

1. 支配者の権力を示すために、巨大な古墳を造営して周辺で暮らしていた。

2. 竪穴住居などを拠点とし、一定の場所に定住して暮らすようになった。

3. 本格的な水稲耕作を行い、大規模な環濠集落をつくって暮らしていた。

4. 大型の野獣を狩猟するため、獲物を追って各地を移動しながら暮らしていた。
- 問5 縄文時代の遺跡に関する調査報告において、「集落の近くから丸木舟が発見されたこと」と「大規模な貝塚が形成されていたこと」が同時に示される場合があります。これらの事実から導き出される、当時の人々の生活背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 稲作が普及したことで定住が進み、余った食料を貯蔵するために大規模な施設を作った。

2. 大陸との公的な交易を行うため、大型の船を建造して組織的な外交を行っていた。

3. 集落間の争いが激化したため、外敵の侵入を防ぐ目的で集落の周囲に堀を巡らせた。

4. 海や川の資源を積極的に利用しており、漁労が生活を支える重要な手段であった。
- 問6 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。

2. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。

3. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した土製品である。

4. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。
- 問7 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。

2. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。

3. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。

4. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。
- 問8 縄文時代の遺跡である貝塚が、当時の社会や生活を研究する上で「考古学的資料」として極めて重要視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

1. 集落の周囲を深い溝で囲むことで、稲作をめぐる集落間の争いがあったことや、防衛のための組織的な仕組みがあったことを示すから。

2. 巨大な石材を用いた石室や、死者とともに埋められた豪華な副葬品が発見されることで、当時の強力な権力者の存在を証明できるから。

3. 食べた後の貝殻や骨、破損した土器などが堆積しているため、当時の人々の食生活や利用していた道具の種類を具体的に知ることができるから。

4. 炭化した米や高床倉庫の跡が発見されることで、当時の人々が計画的に食料を生産・貯蔵していた社会構造を裏付けるから。
- 問9 縄文時代の人々が製作した「土偶」について、その特徴や目的を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 安産や豊作を祈るまじない、あるいは病気の治癒を願う儀式的道具として用いられた。

2. 武士が戦場に赴く際、勝利を祈願して寺社に奉納するための供え物として作られた。

3. 亡くなった有力者の権力を示すために、巨大な墓の周囲に並べる装飾として作られた。

4. 大陸から伝わった稲作技術とともに、収穫した稲の穂を摘み取るための道具として広まった。
- 問10 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代

2. 三内丸山遺跡 — 縄文時代

3. 三内丸山遺跡 — 弥生時代

4. 登呂遺跡 — 弥生時代
- 問11 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 琉球民族

2. 蝦夷（えみし）

3. 渡来人

4. アイヌ民族
- 問12 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 千葉県公立入試 類似)

1. 食物の豊穰や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。

2. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。

3. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。

4. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。